

第252回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成27年12月22日（火） 13:30～16:00
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、功刀副学長、神子副学長、千葉副学長、小沢副学長
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、松下評議員、
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、
真田経済経営学類長、阿部評議員、佐野評議員、
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員、
小島統括学系長、中村事務局長
【オブザーバー】高橋監事、平山監事
4. 欠席者 三浦副学長

5.

審議事項

1. 中期目標についての意見（原案）及び中期計画案について 資料1
2. 教員人事について 資料なし

報告事項

1. 平成27年度「年度計画」の中間報告について 資料2
2. 就業規則の制定等について 資料3
3. 他大学等における研究不正事案の公開について 資料4
4. 平成28年度科研費申請状況について 資料5
5. 学内諸規則等の制定について（廃止措置研究・人材育成推進室要項） 資料6
6. サンフランシスコ州立大学（米国）との学生交流協定締結について 資料7
7. 人間発達文化学類と棚倉町教育委員会との連携・協働に関する協定の締結について 資料8
8. 再生可能エネルギー寄附講座の設置について 資料9
9. うつくしまふくしま未来支援センターの支援活動状況等の報告について 資料10

10. その他

- ・「大学及び大学教員の教育活動に関する実態調査」回答依頼について

【確認事項】

第251回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 中期目標についての意見（原案）及び中期計画案について

中井学長から、資料1に基づき、第3期中期目標・中期計画（素案）について、修正等は求められなかったが、平成27年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」採択等により、素案の記載内容を変更する必要があり、追加と修正について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 教員人事について

中井学長から、「国立大学法人福島大学職員任免規程」第20条の規定に基づき、人間発達文化学類教員1名の休職の延長と経済経営学類教員1名の休職について提案があった。

また、千葉人間発達文化学類長と真田経済経営学類長から、休職延長の事由や期間について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

【報告事項】

(1) 平成27年度「年度計画」の中間報告について

功刀副学長から、資料2に基づき、平成27年度「年度計画」の9月末時点の中間報告について概要の説明があった。あわせて各部局長から課題や進捗状況等について報告があった。

共通教育の見直し案の報告時期に関する質問に対し、神子副学長から、11月に第2次案を策定したが、まだ不十分なため引き続き検討しているとの説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 就業規則の制定等について

功刀副学長から、資料3に基づき、第251回教育研究評議会（11月24日開催）で報告した年俸制（業績評価制度）にかかる就業規則の制定及びマイナンバー制度にかかる就業規則の一部改正について、過半数代表からの意見を踏まえ第381回役員会（平成27年12月14日開催）において承認された旨の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(3) 他大学等における研究不正事案の公開について

千葉副学長から、資料4に基づき、新しい研究不正ガイドラインに基づいて文部科学省のホームページに公表された研究不正の事例について報告があった。併せて、

研究不正を起こすことは研究者自身の研究生命はもちろんのこと、調査に膨大な時間を要し、大学評価にも甚大な影響を与えるため、各学類教員会議において、再度周知願いたい旨の発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 平成28年度科研費申請状況について

千葉副学長から、資料5に基づき、平成28年度科研費申請状況の概要について、新規申請件数が過去最多タイであること、申請件数が過去最多であること等の説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(5) 学内諸規則等の制定について（廃止措置研究・人材育成推進室要項）

千葉副学長から、資料6に基づき、文部科学省により推進されている国家課題対応型研究開発事業「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」において、昨年度、本学共生システム理工学類高貝慶隆准教授の提案課題（分析技術者の育成及び廃炉措置を支援加速する研究開発）がフィージビリティ採択を受け、大学全体として廃炉に向けた取組を推進・実施する体制を整えるため、廃止措置研究・人材育成推進室設置に関する要項を制定したことについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) サンフランシスコ州立大学（米国）との学生交流協定締結について

小沢副学長から、資料7に基づき、サンフランシスコ州立大学（米国）との学生交流協定の締結について、報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(7) 人間発達文化学類と棚倉町教育委員会との連携・協働に関する協定の締結について

千葉人間発達文化学類長から、資料8に基づき、教育上の諸課題に対応し、相互に連携・協働するため、棚倉町教育委員会との協定を締結することについて報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 再生可能エネルギー寄附講座の設置について

二見共生システム理工学類長から、資料9に基づき、ふくしま未来研究会及び福島県建設業協会福島支部会員企業からの寄附金による「再生可能エネルギー寄附講座」設置の概要について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(9) うつくしまふくしま未来支援センターの支援活動状況等の報告について

中田うつくしまふくしま未来支援センター長から、資料10に基づき、うつくしまふくしま未来支援センターの平成27年度の支援活動状況等について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(10) その他

・神子副学長から、文部科学省から12月15日付で依頼のあった「大学及び大学教員の教育活動に関する実態調査」について、各学類で数名の教員に回答をお願いしてほしい旨の依頼があった。